

# 会 議 議 事 録

会 議 名	令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	2023年7月14日(金) 17時30分～19時10分	
会 場	専門学校東京工科自動車大学校品川校 26教室	
参 加 者	委員 (敬称略)	5名 (出席:5名) 稲垣正義、酒井崇、西岡竜一郎、木下昌明、間島和明 (欠席:1名)田中絵里
	事務局	2名 澁谷健、市川隆由
会 議 録	<p>1. 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催に向けて校長の澁谷より挨拶があった。</li> </ul> <p>本年度の人事配置に関する組織変更について説明、報告 成長戦略推進本部の設置(高専連携、海外事業推進部、H&amp;D 事業部の紹介)に関して説明</p> <p>2. 委員会成立の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より委員会メンバーの出欠確認(6名中5名出席)がなされ、本委員会の成立が承認された。</li> </ul> <p>3. 学校関係者評価委員および事務局メンバーの確認と議長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本委員会の成立を受け稲垣委員が議長、酒井委員が書記として選任された。</li> </ul>	
審議事項	<p>4. 議事</p> <p>議案1. 前回議事録の確認</p> <p>事務局(澁谷)より前回議事に関して配布資料に基づき報告し、本議案1について各委員より承認を受けた。</p> <p>議案2. 2022年度 自己評価結果について</p> <p>事務局(澁谷)より配布資料に基づき実績報告を行い、本議案2について各委員により承認を受けた。</p> <p>議案3. 2022年度事業計画、実績報告(澁谷)</p> <p>事務局(澁谷)より配布資料に基づき以下の実績報告がなされた。</p> <p>①2022年度就職実績の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1級科は4月末時点で100%達成(30%は海外事業関連＝目標達成)</li> <li>整備科は8月末100%達成</li> <li>1級科では海外で活躍できる企業への就職目標を30%とし、結果として3名(30%)が達成した。</li> </ul>	

<p>報告事項</p>	<p>②2022年度募集実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき各科毎の募集実績について説明した。</li> <li>・1級科18名、整備科14名、HD 専科26名 全体58名の入学</li> </ul> <p>③2022年度国家資格合格実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1級整備士:10名受験中1名が筆記不合格、最終的に9名が口述合格</li> <li>・2級整備士:42名受験、ガソリンまたはジーゼルいずれかの不合格が整備科から2名、1級科から3名発生。1級科3名の不合格者は、内1名が休学、内2名が退学となる。</li> </ul> <p>④2022年度進級・卒業・退学実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退学率を5%以内に設定、結果9.2%(11名が退学) それぞれの退学要因について説明した。</li> </ul> <p>⑤2022年度実績 教職員FD</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依然としてコロナ禍であり参加事案が限られたという事情も重なり4件という限られた参加実績となった。</li> </ul> <p>以上、①～⑤に関する説明を行い、本議案3について各委員から承認を受けた。</p> <p>4. 報告事項 2023年度事業計画と取り組み内容</p> <p>事務局(澁谷)より以下の報告がなされた。</p> <p>①数値目標</p> <p>就職率、資格取得率、進級・卒業率、退学率、出席率、履修管理、AG評価、学生アンケート等の教務課題と見学・出願率、1級科編入目標について説明した。</p> <p>②募集目標</p> <p>反応者数から目標値を定め、見学者数と見学出願率向上に向けて取り組んでいる。 本年度は1級科26名、整備科26名、HD科25名 合計77名入学を目標値とした。 現在のところ、日本人が低迷している反面、留学生の見学者は増加傾向にある。</p> <p>③就職目標</p> <p>昨年同様の目標値を掲げ取り組んでいる。 4月末時点で1級科:100%、 6月末時点で整備科:79%、HD科は59%と停滞状態</p> <p>続けて以下の報告がなされた。</p> <p>①無償化機関要件の公開情報については7/1公開済</p> <p>②職業実践専門課程の公開情報については7/末公開予定</p> <p>③メディア取材に関する取り組みに報告</p>
-------------	--

その他

## 6. 意見交換

(地域)コロナ以前は留学生が地区祭に参加していた。次年度は是非参加していただきたい。

(卒業生)企業実習(インターン)先は自宅から遠方の場合、内定先以外の事業所での受け入れには出来ないのか？

⇒メーカー就職など認証工場以外の場合は系列の販売会社様等をお願いをしているケースもあるが、極力就職予定先での就業体験をしておくことが有効であると考えており、学生にも理解を得ている。

(卒業生)留学生のOC参加者が増加していることは好ましく感じられるが、留学生比率が高まると退学リスクも高まってしまうのでは？

⇒留学生だけにまとめず、邦人学生と一緒に学習できる環境づくりに努めたい。

(卒業生)まだまだ東京工科のHD専科の認知度は低い。SNS等を活用し認知度の向上と募集人数を増やして欲しい。それが業界の向上に繋がるのでは。現場ではスタッフ不足となっている。

(企業)退学者の発生について、留学生の就職意欲は高く感じられる反面、日本人は希薄に感じられ気掛かりである。その他、インターン生の受入れを積極的に行いたい。

以上の報告および連絡事項を以て本委員会を終了した。

会議風景

以上

